

登録コード	EKG06900	開講年度	2026				
授業科目	特別なニーズのある子どもの自立活動					担当教員	楠見 友輔 他
英文授業名	Pedagogy in Activities for Independent Living for Children with Disabilities					副担当	宮地 弘一郎・下山 真衣
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	履修学年	
講義室	教育E106			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				⇔	【授業の達成目標】	
	26EAカリ, 25EAカリ, 24EAカリ						
	教育の専門職としての学識・技能				⇔	主として知的障害児の自立活動に必要な教育課程に関する専門的知識・技能を習得する	
	26EAカリ, 25EAカリ						
	子どもの多様なニーズへの対応力				⇔	自立活動の観点から、子どものニーズに応じた指導を計画、実践する方法を習得する	
(2)授業の概要	特別支援教育における自立活動に関する発展的な知識（歴史、制度、実際）を学習するとともに、自立活動の実践に必要な実態把握、計画、実践、評価の在り方について議論する。						
(3)授業計画	第1回 自立活動の歴史（養護・訓練の成立とその後の展開） 第2回 自立活動の理念 第3回 教育制度における自立活動の位置づけ 第4回 障害種と自立活動（知的障害） 第5回 障害種と自立活動（視覚障害、聴覚障害） 第6回 障害種と自立活動（肢体不自由、重複障害） 第7回 障害種と自立活動（病弱） 第8回 個別の指導計画との関連 第9回 個別の指導計画と自立活動の計画 第10回 自立活動の課題 第11回 自立活動の実際（個別指導の例） 第12回 自立活動の実際（集団指導の例） 第13回 自立活動の評価 第14回 これからの自立活動						
(4)成績評価の方法	1) レジューメの作成。 2) レポート試験。 ・上記を総合して成績評価するが、評価の割合は、1) =25%、2) =75% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(5)履修上の注意	レジューメ・レポート試験の評価基準は次の通りである。 (i) 問題の設定が適切であり、問題の背景を説明できている。 (ii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。 (iii) 指摘した課題について社会的・学術的な知識を用いて考察できている。 (iv) 自分の意見を説得的に提示できている。 (i) まで達成している場合、「水準にある（可）」 (ii) まで達成している場合、「やや上にある（良）」 (iii) まで達成している場合、「かなり上にある（優）」 (iv) まで達成している場合、「卓越している（秀）」						
(6)質問,相談への対応および連絡先	履修や授業内容に関する質問や相談は、担当回の教員にメールで問い合わせてください。						
(7)成績評価の基準	・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。 ・レポート試験は以下の観点から評価する。 1)字数条件を満たしており、教育的に適切な内容で整理されている。 2)講義で学んだ内容が踏まえて書かれている。 3)整理の仕方にオリジナリティがあり、自分の考えが根拠立てて書かれている。						
(8)事前事後学習の内容について	講義前に資料に目を通して頂くことを事前学習とする。 各回に学んだ内容を次回までに復習することを事後学習とする。 授業と事前・事後学習を含めて90時間の学習時間を目安とする。						
【教科書】	安藤隆男（2021）『新たな時代における自立活動の創成と展開：個別の指導計画システムの構築を通して』教育出版						
【参考書】	特別支援学校教育要領・学習指導要領解説（自立活動編）						